

2019年7月
(No.52)

あこう社協だより



おいしいお米に
ぐんぐん
大きくなあ〜れ!!

社協新役員(理事・監事)が選任されました……	2P
平成30年度事業報告・決算報告 ……………	3P
在宅生活を支える社協の福祉サービス ……………	5P
(特集) ちょっとそこまで♪ 歩いて行ける地域の居場所 ……………	6P
ちょっといい話 夏休み!体験もりたくさん!! ……………	10P
知っ得あんしん みんなの介護保険Q&A ……	11P
まち発見!あこう福祉ニュース ……………	12P

6月18日(火)、塩屋小学校3年生児童67名が、総合的な学習で田植えを体験しました。地域の方々や保護者の協力のもと、手渡された苗をていねいに植えていきました。「足が抜けへん」「上手くできひん」など、初めての田植え作業に悪戦苦闘しながらも、無事植え終わりました。

秋の収穫を楽しみに、田んぼには子どもたちの笑顔があふれていました。

理事長就任のごあいさつ



赤穂市社会福祉協議会
理事長 児嶋佳文

いったさまさまな課題が顕在化しています。このような中、地域社会における福祉の需要はますます増大かつ多様化しており、社会福祉協議会が果たす役割は極めて重要なものであると認識しております。

赤穂市社会福祉協議会では、「支えあい 助けあう」このころつながるやさしいまち あこころを基本理念とした「第2次赤穂市社会福祉協議会地域福祉推進計画」に基づき、地域の支えあう力を高め、安心して地域で生活できるまちを目指して、各種事業の推進に積極的に取り組むこととしております。

市民の皆さまにおかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申しあげます。平素は、赤穂市社会福祉協議会にご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、令和元年6月20日開催の理事会で、理事の皆さまからのご推薦を受けまして、理事長の重責を担うこととなりました。微力ではありますが、これまでの経験を活かして、地域福祉の充実と発展のため努力してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

今日の社会福祉を取り巻く状況は、少子高齢化の進展、単身世帯の増加、経済情勢を起因とする生活困窮、社会的孤立と

今日、赤穂市社会福祉協議会では、一層のご支援とご協力を心からお願いいたします。理事長就任のごあいさつとします。

社協新役員(理事・監事)が選任されました

赤穂市社会福祉協議会 理事・監事

(任期 令和3年度定時評議員会の終結の時まで)

区分	氏名	所属団体等
理事長	児嶋 佳文	学識経験者
副理事長	沖 知道	自治会連合会
副理事長	水野 亮	民生委員児童委員協議会
理事	中村 隆彦	医師会
//	有吉 一美	老人クラブ連合会
//	後藤 和子	婦人共励会
//	木村 佳史	身体障害者福祉協会
//	矢野 隆	ボランティア協会
//	大玉 優	老人福祉施設協議会
//	西田 佳代	市行政(福祉事務所長)
//	藤原 慶二	学識経験者(関西福祉大学)
//	山田 和子	学識経験者
//	多田 憲子	学識経験者
監事	田中 強	学識経験者
//	矢野 善章	学識経験者

社協は、地域福祉の推進を図ることを目的とした民間の団体です。任期満了に伴い、この度、業務執行の決定機関としての理事会(理事13名、監事2名)の役員が左記のとおり選任されました。ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



平成30年度事業報告・決算報告

『支えあい 助けあう ところつながる やさしいまち あこう』の実現に向けて

(事業報告より一部抜粋)

地域での生活支援体制づくり

平成29年度に配置された生活支援コーディネーターにより、地域に不足するサービスの創出や担い手の育成、ネットワークの構築等、地域の支援ニーズの把握に取り組みました。

また、ちょっとした困りごとを住民同士の助けあいで解決する仕組みづくりとして「地域の困りごと応援隊事業」を引き続き行い、毎月の定例会では情報共有しました。

生活支援コーディネーター設置事業
活動件数 222件

地域の困りごと応援隊事業
利用登録人数 34名 応援隊登録人数 35名
活動件数 42件

地域のふれあいや居場所づくり

地域でのふれあいや居場所づくりとしての「ふれあい・いきいきサロン事業」では、「サロン作り方講座」や「お試しサロン」、「ミニサロン」を行うなど実施箇所の拡大に努め、2カ所増加しました。

市内46カ所(自主運営含む)

在宅福祉サービスの積極的な展開

買物が困難な高齢者等を対象とした「買物支援モデル事業」を、西部地区をモデル地区として毎月実施しました。

また、毎週月・木曜日に実施している「介護特別食」や「福祉用具貸与事業」などで、在宅福祉サービスの充実に努めました。

買物支援モデル事業 12回実施
介護特別食 90回実施
福祉用具貸与事業 貸出件数296件

児童福祉活動の充実

児童扶養手当を受給しているひとり親家庭を対象に、ランドセルや中学生体操服の購入助成を継続実施し、子育て支援の促進を図りました。

ランドセル購入助成件数 18件
中学生体操服購入助成件数 23件

赤穂市社会福祉法人連絡協議会設立

市内すべての10の社会福祉法人と連携し、地域における公益的な活動を行うための連絡協議会が11月14日開催の設立総会にて設立されました。

福祉への関心の向上

テーマを定めて市内の活動者等に実践発表してもらい、現状と課題を共有するとともに、これからの活動を考える機会として、「地域福祉フォーラム」を新たに開催しました。

また、「あこう社協だより」を毎月12ページ発行し、情報発信の強化に努めました。

地域福祉フォーラム平成30年度テーマ
「子ども食堂(居場所)を考える」 115名参加

見守り・支えあい活動の推進

各地区まちづくり連絡(推進)協議会、民生委員児童委員協議会等の協力のもと、ひとり暮らし老人や高齢者世帯等を対象に、見守りや支えあい活動を推進しました。

友愛訪問活動
対象者・参加者 延6,159人
給食サービス
82回実施 延6,138食
三世代交流もちつき大会
市内14カ所 4,048人参加 対象者1,880人

災害時の対応、災害に備えた取り組み

平成30年7月豪雨災害では、被災地へのボランティアバスや職員派遣、街頭募金で支援活動を行いました。また、いつ起こるかかわからない災害に備え、関係団体と連携し、ボランティア養成や訓練を行いました。

【岡山県倉敷市への支援】

ボランティアバス派遣 2回 27名参加
職員派遣 4回

災害ボランティアセンター開設訓練
赤穂市防災総合訓練参加
災害ボランティア養成講座

地域に根ざした介護サービスの提供

介護保険事業や障がい福祉サービスの指定事業者として、地域に根ざした社協ならではの「誰もが安心して利用できる介護サービス」を行いました。

居宅介護支援(ケアプランの作成) 1,781件
 訪問介護・居宅介護(ホームヘルプ) 訪問回数24,976回
 訪問入浴介護(入浴サービス) 入浴回数115回
 地域密着型通所介護(デイサービス) 利用回数1,615回

なお、訪問入浴介護事業は平成30年9月をもって廃止となりました。

相談支援事業所開設

障がいのある人やそのご家族からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言、サービス等利用計画の作成等を行う相談支援事業所を平成30年10月より開設しました。

計画相談件数 43件

社協組織の体制強化・透明性の向上

平成30年度より、役職員で事業の成果・課題の共有を図るため、新たに正副理事長会議を開催しました。

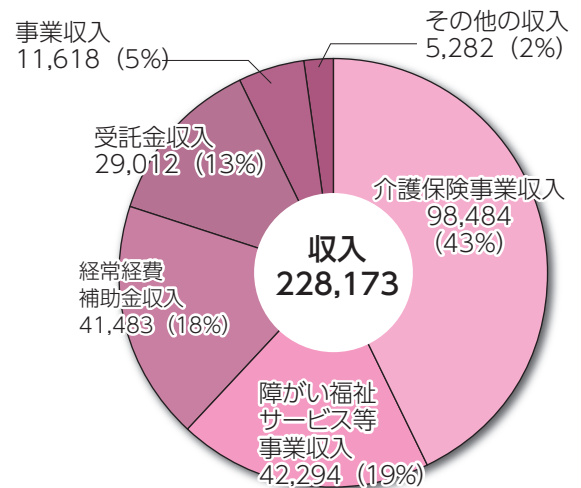
正副理事長会議 3回
 理事会・評議員会・監事会・評議員選任解任委員会 計10回

資金収支決算

(単位:千円)

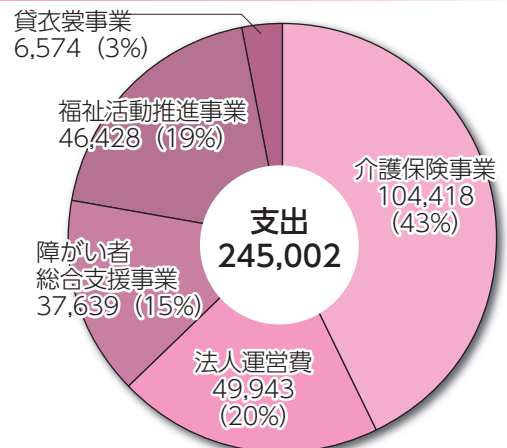
収入の部

介護保険事業収入	訪問介護事業、訪問入浴介護事業、居宅介護支援事業、地域密着型通所介護事業の介護報酬及び利用者負担金
障がい福祉サービス等事業収入	障がい者(児)へのホームヘルパーの派遣による介護報酬、利用者負担金、相談支援事業の介護報酬
経常経費補助金収入	市、県社協、県共同募金会からの補助金
受託金収入	市から委託されている総合福祉会館管理費や福祉用具貸与事業・視覚障がい者支援事業などのほか、県社協からの福祉サービス利用援助事業や生活福祉資金貸付制度の受託金
事業収入	貸衣裳事業利用料など
その他の収入	会費収入、寄付金収入、利用者・講座参加者負担金収入など



支出の部

介護保険事業	訪問介護事業、訪問入浴介護事業、居宅介護支援事業、地域密着型通所介護事業の運営費
法人運営費	理事会・評議員会の開催、機関紙発行、福祉のつどい、市民福祉講座、地域福祉フォーラム、事務局職員人件費 など
障がい者総合支援事業	障がい者(児)へのホームヘルプ事業、相談支援事業の運営費
福祉活動推進事業	小地域福祉推進事業、ふれあい・いきいきサロン支援、パートナーサービスモデル事業、三世代交流もちつき大会、友愛訪問活動、給食サービス事業、移送サービス事業、敬老事業、ボランティアセンター活動事業、善意銀行払出事業 など
貸衣裳事業	生活改善事業として衣裳の貸付



※収入不足16,829千円は前期末支払資金残高で対応

平成30年度の事業報告書・決算書については、社協ホームページに掲載しています。
 また、総合福祉会館社協窓口においても閲覧できます。

在宅生活を支える社協の福祉サービス



外出を手伝ってもらいたい

移送サービス事業



日常生活において車いすを必要とする障がい者や、要介護高齢者の外出（通院等）を援助します。

- 【対象者】常時車いすを利用している市民
※原則家族等の添乗者が必要
- 【利用料】1回 1,000円（往復）

福祉機器を借りたい

福祉用具貸与事業

身体の不自由な人や高齢者、病気やケガ等で日常生活に支障のある人に福祉機器の貸与を行います。

- 【貸与用具】車いす、電動ベッド、歩行器、ポータブルトイレ、シャワーチェアなど
- 【利用料】無料（電動ベッドのみ準備物が必要）
※原則修理費用は自己負担

ちょっとした困りごとを手伝って!

地域の困りごと応援隊

草抜きや窓ふき、重たい物の移動など、ちょっとした困りごとに対応し、住み慣れた地域で安心して生活できる、助けあいの輪を広げます。

- 【対象者】
高齢者などに限らず、市内在住でちょっとした困りごとを抱えている方
- 【支援内容】
家事（簡単な掃除、窓ふき、洗濯など）
暮らしのお手伝い（電球交換、草抜きなど）
※原則、依頼者もできる範囲で一緒に活動をお願いします。
- 【利用料】
10分100円
- 【利用可能日時】
月曜～金曜（祝日、年末年始除く）
午前8時～午後5時



みんなで気軽に集まりたい

ふれあい・いきいきサロン事業

地域の人たちが気軽に近くの集会所等に集まり、楽しく過ごす場を自分たちで企画し、運営していく活動を支援します。

【活動助成金】

- ・月1回以上実施
 - ①開設5年未満：年間25,000円
 - ②開設5年以上：年間30,000円
 - ③月2回以上実施：上記+10,000円
- ・年4回以上実施（ミニサロン）
年間10,000円

【お試しサロン】

プログラムの組み立てや進行等、実際にサロン開催をお手伝い（1回分の経費を社協が負担）

【その他】

レクリエーション用品の貸し出しなどで、サロン活動を応援しています。



食事に困っている

給食サービス事業

他人との交流の少ないひとり暮らし老人等に、定期的に昼食弁当を配食し、安否確認を行います。

- 【対象者】ひとり暮らし老人（S.17.12.31生まで）
高齢者夫婦等（S.12.12.31生まで）
※同一自治会内に子どもがいる場合は対象外
- 【実施日】地区により、年8回～10回
- 【利用料】1食300円



ご相談は…

赤穂市社会福祉協議会まで
TEL: 42-1397
FAX: 45-2444

ちよことうそこまで♪



歩いて行ける地域の居場所

現在の日本では、家族や地域社会との関係が希薄で、他者との接触がほとんどない状態である『社会的孤立』が問題になっていきます。单身世帯の増加、婚姻率の低下などが背景にあり、高齢者だけに限らず、子育て世代や若者にも広がっています。

单身世帯でも、家族や近隣住民、友人との交流がある一方で、家族と同居していても、日常的な交流がなく、近隣や友人とも接触が乏しければ、社会的孤立に陥る場合があります。

今回の特集では、そんな社会的孤立への対策で注目されている、地域の居場所について考えます。



同居以外の他者との交流が「週1回未満」の状態から、健康リスクになる可能性あり

愛知県下6市町村において、要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者を対象に、2003年から10年間を追跡調査した結果、同居者以外の他者との交流が毎日ある人に比べ、「月1回〜週1回未満」の人では1.3〜1.4倍、要介護認定や認知症に至りやすく、「月1回未満」の人はそれに加え、1.3倍早期死亡に至りやすいという結果が出ました。交流の乏しさを社会的孤立とするならば、同居者以外との交流が「週1回未満」の状態から孤立状態、「月1回未満」となると、深刻な孤立状態にあると考えられます。
(出典：日本老年学的評価研究プロジェクト)

ひとり食事を摂らぬよう病になりやすい

要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者のうち、うつ症状のない人を2010年から3年間追跡調査した結果、孤食の人ほどうつ症状を発症していることが分かりました。同居（誰かと暮らしている）か独居かの違いでまとめた結果、女性では、同居でも独居でも、孤食であると14倍うつを発症しやすいという結果になりました。

一方、独居の男性では、孤食だと共食（誰かと一緒に食事すること）に比べて2.7倍うつを発症しやすい可能性があることが分かりました。
(出典：東京大学大学院医学系研究科 谷友香子 調査・研究)

あなたに『地域の居場所』があれば、これらの症状を軽減する力になります！

地域の居場所 3つのタイプ

1. 自然発生タイプ

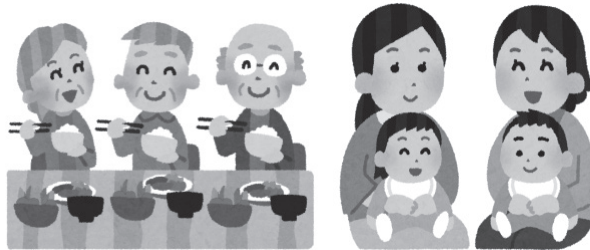
ベンチや誰かの家など、何人かが集まり、世間話をしていたりするなど、自然に始めているタイプ。

2. 単独タイプ

ふれあいを目的に、季節行事や運動、手芸、ゲームを一緒にするなど、参加者の声を取り入れながら開催しているタイプ。

3. カフェタイプ

ふれあいを目的に、食事や喫茶をメインにしたタイプ。食事をするために行ってみようかな…と参加者が気軽に入りやすい雰囲気がある。



「ここにきたらホッとするなあ」「話していたら元気が出てきたー」
 そう思える場所が身近にあったらいいと思いませんか？学校や職場、家庭とは違うもう一つの場所。さまざまな世代が自由に参加できる場所。妊婦さんや子育てをしているお母さん、障がいのある人もない人も、そこへ来てホッとくつろげる場。それが、『地域の居場所』です。

地域の居場所 3つの効果

①心のやすらぎ

自分の行きたいときに、好きなだけ居れる自由と、心地よさがあります。

おしゃべりをするのもよし、買物や学校帰り、散歩の途中にふらっと立ち寄るなど気軽に集うことができま。また、多世代にわたる、さまざまな人とふれあうことで、心に刺激を受け、リフレッシュすることにつながります。



②地域に仲間ができる

何気ないおしゃべりの中で信頼関係が生まれ、悩みが解決したり、必要なニーズが生まれます。例えば、ひとりでの子育てをしているお母さん、介護に悩んでいる人など、信頼ある仲間ができ、安心した生活が送れるようになります。

また、助けあいの気持ちや、地域にあるさまざまな課題に取り組んでいくきっかけにもなります。



③人間力アップ

お互いが助けあいながら過ごすうちに、自分の新たな能力や、今まで培ってきた知恵や特技に気付き、それを居場所の中で生かすことで、いきいきとした気持ちになります。

また、自分に自信を持つことができ、例えば閉じこもりがちの方にとっては、外出や社会参加のきっかけとなります。





～ふれあい・いきいきサロン～ いこいのひろば“たかお”

高雄地区に住むみんなが気軽に集まり、顔を合わせる機会を増やす。「いこいのひろば“たかお”」は、単自治会ではなく、地区全体を対象とした、市内では珍しい、いきいきサロンです。立ち上げのきっかけは、社協主催の『セカンドライフ応援講座』でした。終了後、有志が集まり、「何か自分たちができることはないか」と考え、集いの場づくりに取り組むこととなりました。

開催時間は、迎えに来たお母さんも参加できるよう、幼稚園の帰宅時間に合わせています。そこに高齢者も混ざり、一緒に折り紙をしたり、ゲームをして過ごしています。「最初は人が集まってくれるか心配していましたが、チラシを持って声をかけると、思っていた以上の人が来てくれました。定着するよう、これからもやっていきたい」と話すのは、代表の梅本文雄さんは、「仕事をしていた頃よりも、車で市内を走り回っている。家でじっとしているよりも、こうして外に出ることは気持ちがいい」と話し、子どもたちとの遊びに汗を流していました。

いこいのひろば“たかお” DATA

- 日時：毎月第3木曜日 午後2時～4時
- 場所：高雄公民館

ふれあい・いきいきサロン登録一覧

令和元年6月末現在

地区名	No.	サロン名	開催場所	地区名	No.	サロン名	開催場所
赤穂	1	駅東いきいきサロン	駅東自治会集会所	御崎	24	いきいきサロン 陽だまり	正保橋町集会所
	2	愛宕会	水源池集会所		25	朝日サロン	朝日町集会所
	3	さくら会(さくら通り自治会)	さくら通り児童遊園		26	ふれあいサロン元塩	元塩町集会所
	4	寿会いきいきサロン	加里屋駅前町集会所		27	本水尾サロン	本水尾町集会所
	5	いきいきサロン松	松区自治会館		28	汐見なぎさサロン	汐見町集会所
	6	南野中村民の会	南野中集会所		29	上高谷喜楽会	上高谷集会所
	7	駅北サロン絆	寿町集会所		30	おたっしゅクラブ	下高谷集会所
	8	いきいきサロン山手	山手町つつじ公園、集会所		31	寄居家和	東之町集会所
城西	9	いきいきサロンしらゆり	城南集会所	32	ふれあい喫茶「よつといて」	上浜市集会所	
	10	いきいきサロン千鳥	千鳥集会所	33	茶屋会	木津第一集会所	
	11	新町サロン	新町集会所	34	木津喜楽会	千種集会所	
塩屋	12	モーニング会	上飯屋公会堂	35	いこいのひろば“たかお”	高雄公民館	
	13	西北お楽しみサロン	塩屋西北集会所	36	いきいきサロン「みつばち」	原校区コミュニティセンター	
西部	14	さくらサロン	天神山集会所	37	栢原健康サロン	有年隣保館	
	15	いきいきサロンひまわり	福浦東集会所	38	サロン「げんき」天国	はりま台集会所	
	16	いきいきサロン「しおかぜ」	福浦新田集会所	39	なごみ	西有年原組集会所	
尾崎	17	大橋町幸生会	大橋町集会所	40	花はなサロン	西有年東中野集会所	
	18	西町なかよし会	西町倶楽部	41	いここサロン	有年牟礼井田地区集会所	
	19	サロン木ノ下	木ノ下集会所				
	20	清水町おちゃのみ会	清水町集会所				
	21	寺子屋高須	高須集会所				
	22	いきいきサロン楽笑	松原町集会所				
	23	サロン中浜	中浜町集会所				





～できることを持ち寄って～ キッタンバツタン

6月17日(月)、有年原の北畠集会所から賑やかな声が聞こえていました。ここでは、おおむね月一回『キッタンバツタン』が開催されています。

昨年の5月、沼田福恵さん・吉田田鶴子さん・福本廣美さんの3人が「みんなで集まる機会をつくれないか」と相談し、会が発足しました。会の名称は、シーソーを表す『ぎったんばつたん』と、地区名の『きたばた』が合わさっています。シーソーは、1人ではできません。2人、3人と集まって、みんなでやろうよ!という思いが込め

られています。

この日は15名が集まり、体操やレクリエーションゲーム、参加者から差し入れの手作り柏餅もあり、茶話会を楽しみました。レクリエーションの道具は、手作りのものがほとんどです。

「顔を合わせて、笑って過ごすと、みんな元気になるって帰っていきます」、「無理せず、自分にできることで協力しあうことで、いい場所になるのでは」、「長く続けられるように楽しみながらやっていきたい」とそれぞれ3人は話していました。

キッタンバツタンDATA

- 日時：不定期(月1回程度)
- 場所：北畠集会所(有年原)

～体も気持ちも健康に～ 花みずき

約15年前、他市でグラウンドゴルフを体験し、「福浦でもやろう!」と声を挙げた方を中心に、『花みずき』が結成されました。当初は数名の集まりでしたが、今では50代〜80代の男女22名が集まり、プレーを楽しんでいます。

開始は8時30分からです。15分に始まることもしばしば。「ナイス!」「あぁ〜、逃げた(球が曲がった)!」と声を出し、それぞれ自分のスコアを記録していきます。



合計6ゲーム回ります。前半3ゲームの後には休憩があり、冷暖房の効いた部屋で茶話会をしています。

「ここでは体も使い、何でも話せるので、心がスツと軽くなります。みんなから元気をもらえる場所です」と会員の三浦八千代さんは話し、代表の中本政幸さんは、「福浦コミュニティセンターは、グラウンドがあつて、屋内は冷暖房・炊事場がある。こういう場所があるということが、とても恵まれていると感じています」と話していました。

花みずきDATA

- 日時：毎週月・水・土
午前8時30分〜10時30分
- 場所：福浦地区コミュニティセンター



◎私がひきこもっていた時、ある人からお寺の清掃のアルバイトの話が来て、戸惑いましたが、やってみることにしました。外に出るのが怖く、私にできるのかと不安もありましたが、住職さんがすごく良い方で、できない私でも受け入れていただき、説法まで聞かせてくれました。私は、その時の説法は今でも忘れていません。私は感謝で、アルバイト代は受け取らず、ボランティアで来させてくださいと伝えました。数カ月後、社会復帰に至りました。

(しげしげ)

『ちよつとらしい話』募集

(応募方法) 氏名(ペンネーム)・年齢・性別・電話番号を明記し、持参・郵送・Eメールのいずれかでご応募ください。2000字程度にまとめてください。
※送付先は、本紙12ページをご覧ください。

夏休み!体験もりだくさん!!

おもちゃライブラリー手作りおもちゃ教室

「ねいちゃーフォトフレーム作り」

- 日 時 8月3日(土)午前10時～正午
- 場 所 総合福祉会館1階教養娯楽室
- 講 師 NPO 法人生涯学習サポート兵庫 伊藤 嘉範氏(ほねっこ)
- 参加費 600円(材料代)
- 定 員 40名
※小学3年生以下の人は保護者の方と一緒に参加してください
- 申 込 7月16日(火)より受付開始(先着順)

小枝や木の実を使って、世界にひとつだけのオリジナルフォトフレームを作ります。思い出の作品ができること間違いなし!



サマーボランティアスクール2019

『災害救助犬について学ぼう!!』

- 日 時 8月23日(金) 午後1時30分～3時30分
- 場 所 総合福祉会館3階集會室
- 講 師 認定NPO法人日本レスキュー協会
- 参加費 無料
- 対 象 小学4年生以上の市民 30名
- 締 切 8月16日(金)

平成30年7月豪雨時での、災害救助犬による捜索活動(広島県安芸郡)



ひとり親家庭ふれあい事業 ～夏の思い出～ デイキャンプでGO

家族のふれあいや仲間同士のつながりを感じながら、みんなで楽しい夏休みの思い出を作ろう!

- 日 時 8月4日(日)午前10時～午後3時
- 場 所 赤穂市野外活動センター
※雨天の場合は赤穂市民会館
- 内 容 バーベキュー・レクリエーションなど(雨天の場合は変更となります)
- 対 象 市内在住のひとり親家庭で親子参加ができる方
- 定 員 40名
- 参加費 大人:1,500円
子ども(小・中・高校生):800円
子ども(小学生未満):500円
- 申 込 7月16日(火)～7月26日(金)の間受付(申込者多数の場合は抽選)



☆ 上記3つの事業について、お申込みは☎42-1397または総合福祉会館へご来館ください。

福祉作文募集!

福祉に対する理解や認識を深めていただくため、『身近な福祉問題や活動』をテーマにした作文を募集します。



応募者全員に参加賞あり

- ◆応募資格 市内在住の人または市内に通勤・通学する人
- ◆応募方法 応募作品に「題名、氏名(ふりがな)、住所、職業(学校名)、年齢、電話番号」を記入し、400字詰原稿用紙(20×20マス、A4サイズのみ)3枚以上5枚以内に濃くはっきりと書いて原本を提出してください。(応募作品は未発表のものに限ります。返却いたしません。)
- ◆応募締切 9月11日(水)社協まで持参または郵送
- ◎入賞者は、12月7日(土)「障がい者週間ともに考える市民のつどい」の席上にて表彰します。(佳作は除く)

賛助会費 ありがとうございます (敬称略)

【個人】	藤田美和子 山本 信行 中田 晴基 八木 圭吾 岸 章夫	上住 晃 山本 陽三 宮地 有子 横山 和弘 小椋 康博	小島 愛子 伊東 康子 山口 五月 後藤 利彦 本家 洋史	西濱 守 濱本 昌宣 竹林 勇 赤穂市議会議員互助会 小椋 孝子	松本 賢仁 橋本久美子 大道 訓敏 山田 和子 古森智恵美	大田 登 浮田 京子 吉郎 貴子 木井 貴子 前田 資子 匿名 47名
【法人】	(有) 西 備 建 材 店 (株) 赤 松 工 業 三 木 内 科 (有) アオイサッシ鋼業 ア ー ス 製 業 (株) トヨタカロラ姫路株赤穂支店	赤穂ライオンズクラブ (有) 小 國 商 店 (有) 吉 田 設 備 工 事 中 村 印 刷 (有) ア ズ ビ ル (株) 澤 田 医 院	駅前町老人クラブ寿会 大 木 産 業 (株) 赤 穂 市 保 護 司 会 関 西 福 祉 大 学 三菱電機システム変電システム製作所 品川リフラクトリーズ(株)	小 野 高 速 印 刷 (株) 東 洋 紙 業 (有) お K A M E く ら ぶ か ん ぼ の 宿 赤 穂 アトラス情報サービス株式会社 (株) 木 本 ガ ス 設 備 匿名 1件		

福祉の拠点をみんなで支えてください。

(法人会費：5,000円、個人会費：2,000円、一般会費：500円)

賛助会費は、社会福祉協議会の貴重な財源です。安定した地域福祉事業の充実や発展を図るためにも、皆様のあたたかい援助が必要です。ご協力をお願いいたします。

し 得 あんしん

みんなの介護保険 Q&A

Q 足が痛くてゴミを持ってゴミステーションまで歩いて行けません。
こんな場合どうしたらいいですか？

A ゴミ出しについては、下記のようなサービスがあります。

- ① 本人の身体状況等によっては、介護保険のヘルパー利用の中で、ゴミ出しを行うことができる場合もあります。
- ② 赤穂市高齢者等ゴミ出し支援事業として、ゴミの戸別収集があります。(利用するには要件あり。詳しくは美化センターへ。)
- ③ その他の団体のサービスを利用。
(例：ホームケアセンター、シルバー人材センター、地域の困りごと応援隊(社協) など)

※まずは担当ケアマネジャーにご相談ください。

心配ごと相談所のご案内 (7月17日～8月14日まで)

【一般相談】 7月24日(水) 7月31日(水)
8月 7日(水)

【弁護士相談】 (要予約) 7月17日(水)

【カウンセラーによるこころの相談】 (要予約)
7月24日(水) 8月 7日(水)

※8月14日(水)はお盆のためお休みです。
相談は無料。時間はいずれも午後1時～5時までです。

<問合せ> 社協 ☎42-1397

あなたのやさしさを善意の窓口へ——

善意銀行だより

あたたかい善意をありがとうございました
預託状況 (6月1日～6月30日受付分)

赤穂市善意銀行
マスコットキャラクター



ぜんい君 こころちゃん

●委任預託 (敬称略)

住 所	預 託 者	金 額	預 託 内 容
	匿 名	5,200	お誕生日に感謝して
	善意の募金箱	14,441	赤穂市福祉のついでに善意に
大 町	匿 名	5,000	福祉のために
大 津	濱 田 学	100,000	亡母(仲) 満中陰志
加 里 屋	大 島 靖 彦	10,000	福祉のために
塩 屋	匿 名	5,000	福祉のために
大 津	赤穂精華園保護者会	20,000	赤穂精華園祭バザー収益を
元 沖 町	匿 名	5,000	車椅子借用御礼
朝 日 町	汐江 加奈美	3,000	車椅子借用御礼
宮 前 町	匿 名	3,000	車椅子借用御礼



手話でコミュニケーション！

6月8日(土)・15日(土)の2日間、「たのしい手話教室」を開催し、延37名が参加しました。

手話でのあいさつや自己紹介のほか、簡単な単語を使った会話を学び、また、耳が聞こえなくて生活で困ることなどを聞き、最後は全員で「さんぽ」を手話で歌い、盛り上がりました。



笑顔いっぱいの交流会

6月14日(金)、ユーザー(視覚障がい者)と点訳ボランティアグループ「赤穂点灯会」との交流会に34名が参加し、点字広報などの感想・要望や自身の近況を話しました。

一緒に昼食を楽しんだ後、点灯会のメンバーや「赤穂ハーモニカクラブ」の楽器演奏を聞いたり、歌ったりして交流を深めました。

■ 編集後記 ■

早いもので、今年も一年の半分が終わり、先日の輪越しでは前半の厄を払い、これからも健やかに過ごせるよう家族でお参りしてきました。

もうすぐ夏休み、社協ではお子さん、学生さんにご参加いただけるイベントや講座を企画しています。たくさん食べて酷暑に負けないよう、元気いっぱい思い出いっぱいの夏にしましょう。
(阿)



福祉活動への貢献をたたえて

6月1日(土)善意の日に、赤穂市福祉のつどいを開催し、約450名が参加しました。

式典では、つつじ賞、さくら賞、ふくしの人の表彰や実践発表などがあり、また、第2部では作家・僧侶の家田莊子氏による講演がありました。身近な人に笑顔向け、あいさつを交わすことの大切さを改めて思い返す機会となりました。



ご意見・問合せは

👉 ホームページもぜひご覧ください！

社会福祉法人 赤穂市社会福祉協議会 〒678-0232 赤穂市中広267番地

電話 0791-42-1397 / FAX 0791-45-2444

E-mail ako-shakyo@ako-shakyo.jp

赤穂市社協

検索 🔍